

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月31日

上場会社名 株式会社KSK 上場取引所 東
 コード番号 9687 URL http://www.ksk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 具美
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 牧野 信之 TEL 042-378-1100
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,849	3.1	443	△9.6	462	△9.2	339	6.0
28年3月期第2四半期	6,644	4.8	490	90.5	509	85.1	320	92.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 332百万円 (4.8%) 28年3月期第2四半期 317百万円 (46.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	54.76	54.15
28年3月期第2四半期	51.42	51.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	12,527	8,950	70.8	1,452.18
28年3月期	12,500	8,909	70.9	1,426.08

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 8,873百万円 28年3月期 8,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	37.00	37.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,560	5.1	1,160	3.1	1,195	2.4	765	8.4	124.22

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	7,636,368株	28年3月期	7,636,368株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,525,663株	28年3月期	1,425,663株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	6,206,333株	28年3月期2Q	6,234,749株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策により、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、中国をはじめとするアジア新興国や資源国経済の減速、英国のEU離脱問題等により、株式相場の下落や円高の進行など金融市場が影響を受けるなどし、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業界においては、車載機器や自動運転技術に関わる技術者の需要が高まるほか、一般企業においては新規のシステム開発需要が増加するなど、良好な受注環境が続いています。

このような環境の中、当社グループは市場の需要に的確に応え、将来に向けた持続的な発展を確実にするために、新卒および中途の採用活動や人材育成策を積極的に展開するほか、パッケージソフトウェアの全面改良に取り組むなど、積極的な投資を行ってまいりました。そのため、募集費、教育費、研究開発費等といった経費が増加し、前年同期比で増収減益となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,849百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益につきましては443百万円（前年同期比9.6%減）、経常利益につきましては462百万円（前年同期比9.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては339百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(イ) システムコア事業

半導体設計業務や組込ソフトウェア業務においては引き続き車載関連業務が増加しておりますが、一方で携帯電話関連業務や半導体試験装置開発業務は需要が縮小していることなどにより、売上高は1,360百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は319百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

(ロ) ITソリューション事業

ソフトウェア開発業務は今期も受注が堅調で稼働率は高いものの、大口開発案件の完了が第3四半期以降となることなどにより、売上高は1,880百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益は217百万円（前年同期比19.3%減）となりました。

(ハ) ネットワークサービス事業

旺盛な需要を背景に、中途採用者も含めた技術者を優良取引先を中心に投入を行ったことなどにより、売上高は3,608百万円（前年同期比4.7%増）、セグメント利益は636百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、12,527百万円と前連結会計年度末に比べ26百万円の増加となりました。これは主に、流動資産の現金及び預金が261百万円、仕掛品が147百万円、固定資産の投資有価証券が341百万円それぞれ増加した一方で、流動資産の受取手形及び売掛金が288百万円、有価証券が99百万円、固定資産の投資その他の資産のその他に含まれる長期預金300百万円が、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、3,577百万円と前連結会計年度末に比べ13百万円の減少となりました。これは主に流動負債において、買掛金が14百万円、未払法人税等が93百万円、その他流動負債に含まれる未払消費税等が31百万円それぞれ減少した一方で、流動負債のその他流動負債に含まれる未払金が109百万円、固定負債の退職給付に係る負債が20百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、8,950百万円と前連結会計年度末に比べ40百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上で339百万円、新株予約権が23百万円それぞれ増加した一方で、配当金の支払いにより217百万円、自己株式の取得により97百万円、その他有価証券評価差額金が20百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ38百万円減少し3,837百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は528百万円（前年同期比243百万円の獲得増）となりましたが、これは主に税金等調整前四半期純利益の計上510百万円や売上債権の減少288百万円などの増加要因があった一方で、未払消費税等の減少31百万円やたな卸資産の増加148百万円、法人税等の支払額254百万円などといった減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は252百万円（前年同期比371百万円の支出減）となりましたが、これは主に有価証券の取得による支出699百万円や投資有価証券の取得による支出613百万円などといった減少要因があった一方で、有価証券の償還による収入1,000百万円や投資有価証券の売却による収入99百万円などといった増加要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は313百万円（前年同期比65百万円の支出増）となりましたが、これは主に配当金の支払額216百万円や自己株式の取得による支出97百万円などといった要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月2日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更に伴う影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,076	4,337
受取手形及び売掛金	2,963	2,675
有価証券	800	700
商品	—	0
仕掛品	102	250
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	572	554
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	8,510	8,515
固定資産		
有形固定資産	632	613
無形固定資産	137	127
投資その他の資産		
投資有価証券	2,365	2,706
その他	881	591
貸倒引当金	△27	△27
投資その他の資産合計	3,219	3,271
固定資産合計	3,989	4,012
資産合計	12,500	12,527
負債の部		
流動負債		
買掛金	163	149
短期借入金	40	40
未払法人税等	298	204
賞与引当金	896	910
工事損失引当金	1	1
その他	839	898
流動負債合計	2,239	2,204
固定負債		
退職給付に係る負債	1,083	1,103
資産除去債務	43	44
その他	224	224
固定負債合計	1,352	1,373
負債合計	3,591	3,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,636	1,636
利益剰余金	6,552	6,675
自己株式	△771	△868
株主資本合計	8,867	8,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176	156
退職給付に係る調整累計額	△186	△174
その他の包括利益累計額合計	△10	△18
新株予約権	48	71
非支配株主持分	3	4
純資産合計	8,909	8,950
負債純資産合計	12,500	12,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,644	6,849
売上原価	5,306	5,470
売上総利益	1,338	1,378
販売費及び一般管理費	847	934
営業利益	490	443
営業外収益		
受取利息	7	10
受取配当金	8	5
その他	3	4
営業外収益合計	19	20
営業外費用		
支払利息	0	0
保険解約損	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	509	462
特別利益		
投資有価証券売却益	—	51
特別利益合計	—	51
特別損失		
固定資産除却損	6	0
投資有価証券評価損	—	3
特別損失合計	6	3
税金等調整前四半期純利益	503	510
法人税等	182	169
四半期純利益	320	340
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	320	339

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	320	340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	△20
退職給付に係る調整額	7	12
その他の包括利益合計	△3	△8
四半期包括利益	317	332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317	331
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	503	510
減価償却費	48	48
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14	13
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	36	38
受取利息及び受取配当金	△16	△15
支払利息	0	0
有形固定資産除売却損益 (△は益)	6	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△51
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	3
売上債権の増減額 (△は増加)	140	288
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△76	△148
仕入債務の増減額 (△は減少)	△25	△14
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△269	△31
その他	138	123
小計	469	765
利息及び配当金の受取額	17	17
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△202	△254
法人税等の還付額	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	285	528
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△599	△699
有価証券の償還による収入	900	1,000
有形固定資産の取得による支出	△38	△5
無形固定資産の取得による支出	△65	△12
投資有価証券の取得による支出	△817	△613
投資有価証券の売却による収入	-	99
その他	△2	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△624	△252
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100	100
短期借入金の返済による支出	△100	△100
自己株式の取得による支出	△91	△97
配当金の支払額	△156	△216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△248	△313
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△587	△38
現金及び現金同等物の期首残高	4,502	3,876
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,915	3,837

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,330	1,869	3,444	6,644
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4	2	7
計	1,330	1,873	3,447	6,652
セグメント利益	304	269	578	1,152

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,152
セグメント間取引消去	49
全社費用(注)	△711
四半期連結損益計算書の営業利益	490

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,360	1,880	3,608	6,849
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3	0	3
計	1,360	1,884	3,609	6,853
セグメント利益	319	217	636	1,173

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,173
セグメント間取引消去	52
全社費用（注）	△781
四半期連結損益計算書の営業利益	443

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。